

Say, is there Beauty yet to find?
And Certainty? And Quiet kind?
Deep meadows yet, for to forget
The lies, and truths, and pain? ...all! Yet
Stands the Church clock at ten to three?
And is there honey still for tea?

from "The Old Vicarage, Grantchester" by Rupert Brooke

教えてほしい。そこでは、まだ、あの美しさに出会えるのか?

そして、あの確かさや、あの穏やかさにも?

嘘や真実、そして、あの痛みを、忘れさせてくれた

遥かなるメドーよ、まだ、そこに?

あの教会の時計は、3時10分前で止まったままか?

お茶の時間の、あの蜂蜜は、今もそこに?

(訳詩: 志村博)

ケンブリッジ大学創立 800 周年記念

志村博がシルクスクリーンと映像で綴る

“G「遥かなるグランチェスター・メドー」 Grantchester Meadows” by Hiroshi Shimura

会期=2010年4月6日(火)~5月23日(日)

開館時間=午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 毎週金曜日は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)

休館日=4月12日(月)、19日(月)、26日(月)、30日(金)、5月6日(木)、10日(月)、17日(月) 入館料=一般300(240)円 小中学生100(80)円

*()内は団体10名以上 *60歳以上の方、障がい者の方(付添1名含む)は入館無料 *毎週土曜日は小中学生入館無料

主催=渋谷区立松濤美術館 後援=ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学出版局



渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421 FAX 03-3460-6366 <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

「遙かなるグランチェスター・メドー」

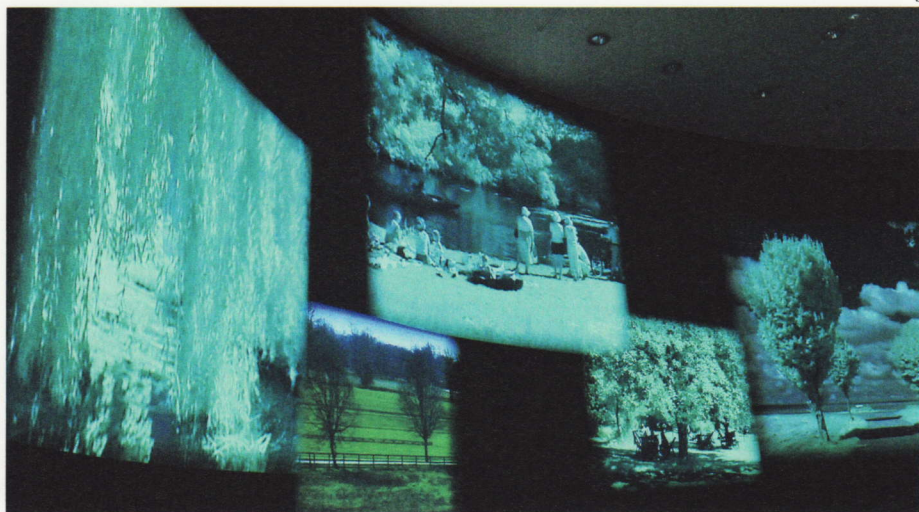
志村博がシルクスクリーンと映像で綴る



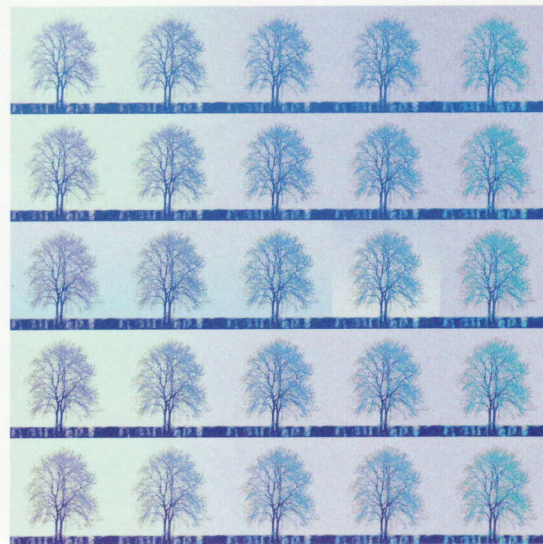
a



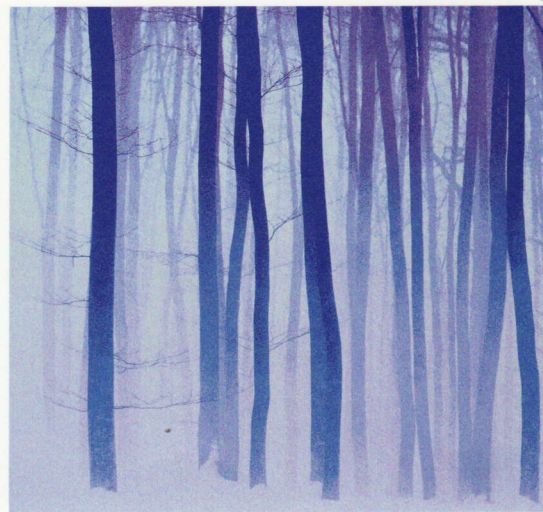
b



c



d



e

a. シルクスクリーン版画《Twilight Recollection /purple》

b. シルクスクリーン版画《Frosty Night Dream》

c. 映像投影インスタレーション《Grantchester-My Heartland》より

d. シルクスクリーン版画《Twin Trees /green》

e. シルクスクリーン版画《Purple Forest》

“グランチェスター”は、イギリスの学園都市ケンブリッジから南3kmにある小さな村の名です。その周辺には典型的なイングランドの田園風景が広がり、イギリスではごく普通に見られる郊外の村ですが、「グランチェスターを語らずにケンブリッジを語ることは出来ない」と言われるほど、大学の業績や、時代の文化形成に大きな役割を果たしてきました。ケンブリッジ歴代の学者や文人たちは、時として大学や街を離れ、ケム川沿いのメドー（牧草地）を歩き、緑多く心休まるグランチェスターに集いました。街を取り囲む美しい自然環境は、彼らに精神的な余裕と、独創的な発想やひらめきをもたらしました。そこは時代の荒波に翻弄されることのない自由な創造空間でした。

1975年、初めてケンブリッジを訪れた志村博は、学園都市の歴史的な街並みだけでなく、郊外に広がる田園風景の美しさ、とりわけグランチェスターを流れるケム川やメドーの景観に接し、深い衝撃を受けます。その感動は志村をケンブリッジに留め、創作活動に向かわせました。その作品群には、北国の優しい太陽が醸し出すケンブリッジ郊外の風景や自然の中で見る木々や葉が、繊細な色調とシンプルで力強い構図により永続性や時の流れを感じさせる表現追求がなされています。

本展では、会場の展示監修、図録デザイン・装丁などを、世界的なグラフィック・デザイナーである勝井三雄が担当し、約60点のシルクスクリーン版画作品展示のほか、映像分野でも活動する志村の映像インスタレーション作品を大壁面に投影します。また同時に、B1展示室ではグランチェスターを愛した詩人ルパート・ブルックに関連する資料展示も行います。

地球規模での気候変動が問われ、不安が渦まく時代、何百年も変わらない光景をテーマにした志村の作品を通して、何気ない風景に潜む造形の美を見出し、美しいものを美しいと感じる素直な感情を呼び覚まし、すべての人が持つ自然への憧憬や希求を見つめ直す契機となれと思います。

- 講演会=4月24日(土)午後2時より
「ケンブリッジとイギリス美術」講師：桜井 武（熊本市現代美術館館長）
- アーティスト・トークⅠ=4月11日(日)午後2時より
志村博が語るグランチェスター、ティー・ガーデン、詩人ルパート・ブルック
- アーティスト・トークⅡ=5月15日(土)午後2時より
志村博が語るシルクスクリーン技法と、ほかし刷りのデモンストレーション
- ギャラリー・トーク(担当学芸員)=午後2時より
4月16日(金)、5月4日(火)、5月12日(水)
- 美術映画会
4月10日(土) 午後2時～3時「シルクスクリーン」『ミロのヴィーナス』
5月2日(日) 午後2時～3時15分「石版画」『プルシャンブルー』
- 美術相談=午後2時～4時
4月18日(日) 講師：水野道子(水彩画)
5月8日(土) 講師：茂登山東一郎(油彩画)

*次回展のお知らせ=中国美術館所蔵 中国の扇面画、6月8日～6月27日

